

講義科目 : 社会福祉論	単位数 : 2
担 当 : 田中 武士	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

社会福祉の理念とその進展、概念の理解を通じて、社会福祉の役割について十分に理解することを目的とする。さらに、実際に援助者として社会福祉の対象と援助、援助形態についての基本的理解を促進する。また、社会福祉の取り組むべき対象とする課題は何か、その課題に対してどのような援助が存在するのかについて理解することを目標とする。

授業計画

- 1) 社会福祉を学ぶ意義
- 2) 社会福祉の存在と日本国憲法
- 3) 社会福祉の理念 (人権尊重)
- 4) 社会福祉の理念 (権利擁護)
- 5) 社会福祉の理念 (自立支援)
- 6) 社会福祉の概念 (地域包括ケアシステムと地域共生社会)
- 7) 社会福祉の範囲
- 8) 社会福祉の役割
- 9) 社会福祉の対象課題
- 10) 社会福祉の援助方法
- 11) 社会福祉の援助形態
- 12) 社会福祉の専門性
- 13) 社会福祉の人権意識
- 14) 社会福祉の職業倫理
- 15) 社会福祉を実生活に活用する

*なお、受講生の状況などによって内容を変更する可能性がある。また、状況によっては、ゲストスピーカーなどを招聘し、利用者や当事者の生の声を聴いて学ぶ機会を設ける。

教材・テキスト・参考文献等

教科書：追って指示する。

上記以外の参考文献や資料は必要に応じて、講義時に指示または配付する。

成績評価方法

- ① 毎回の講義時の小レポート (40%)
 - ② 小テスト (2回程度) (20%)
 - ③ 定期試験 (40%)
- 上記の①から③を総合的に評価する。